

わたしと笠間 5

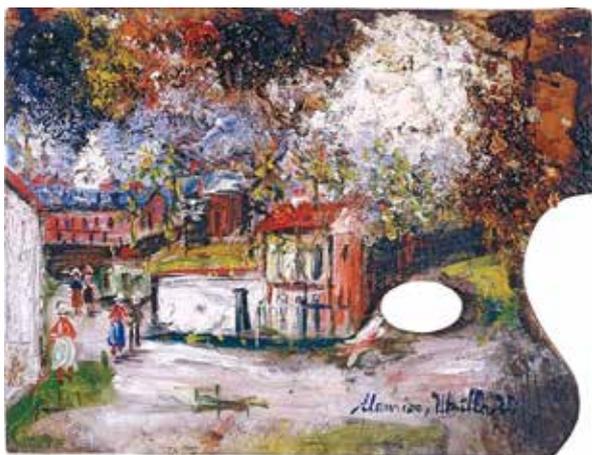
パレットと笠間日動美術館

昭和42年のことである。日動画廊主催のユトリロ展を開催した。ユトリロを専属で扱っていたペトリデスというパリの画廊から作品を借りた。その時にユトリロがペトリデスさんにプレゼントしたパレットも一緒に送られてきた。パレットには絵が描かれており、それを見た長谷川仁が「これはいい。是非、日本の画家の方たちのパレットを収集しよう。」と思い付いた。ちょうど日動画廊の40周年の準備中だったので、その記念に画家の先生方の使っておられるパレットにちよつと何かを描いてご寄贈いただきたいとお願いをした。

その時には約160点のパレットをいただいた。そのコレクションを入れるために、故郷笠間に財団法人笠間日動美術館を設立する運びとなった。

今も先生方をお願いしていただいているので、現在では350点を超える。また、

付き合ひのあつたピカソやダリの遺族の方からもパレットをいただくことができた。このパレットコレクションは世界に類を見ないユニークなものと自負している。そのアイデアの元となったユトリロのパレットは、ペトリデスさんの愛着があり、売っていただけなかつたが、三年前に遺族が売りに出し、ようやく手に入れることができた。



ユトリロの「パレット」1993年頃作

笠間日動美術館 副館長 長谷川智恵子

オオキンケイギクは特定外来生物です

北米原産のオオキンケイギクは、道路沿いなどで黄色い花を咲かせ、年々その量・生育地を拡大していきます。この花は繁殖力が非常に強いいため、在来種（昔から日本にあった種類）に影響を及ぼすことから「特定外来生物」に指定されていて、栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが法律で禁止されています。

※一般の家庭や畑などに生息している場合は、除草が必要となります。



○オオキンケイギクの特徴

多年生草本。高さ30～70cm程度。花期は5月～7月頃。直径5～7cmの黄橙色の頭状花をつける。

○少量を処理するときの注意

根から引き抜き、種の飛散がないようにその場で2～3日天日にさらすなど枯死させた後、ビニール袋などに密閉して燃えるごみとして処分してください。



特定外来生物に関する法律、規制内容など詳しくは、環境省外来生物に関するホームページで確認ください。

URL ▶ <http://www.env.go.jp/nature/intro/>

【問合せ】環境保全課（内線125）